

## 2021年度入試の問題分析

## ①入試の概要

解答形式は、記述式・マーク式の2形式。分量は、一般選抜 前期日程(3科目型) <2/9><2/10>ともに大問4、小問44(記述式12問・マーク式32問)で、2020年度と同じであった。

問題形式は、テーマに基づいた問題文を読んだうえで、空欄に入る語句を記述する問題や空欄に入る語句を選択する問題を中心に、文章の正誤を判断する問題、出来事を年代順に整序する問題が出題された。また、史料問題は2020年度に続いて、2021年度も出題された。地図問題は2020年度に出題されたが、2021年度は出題されなかった。

両日をまとめて時代・分野の出題比率をみると、時代では、近代(幕末～昭和戦前期)から35%程度、近世(織豊政権～江戸時代)から30%程度、古代(古墳時代～摂関政治期)から15%程度、中世(院政期～戦国時代)から15%程度、現代史(戦後以降)から5%程度出題された。2020年度は近世から35%程度、近代から25%程度、古代から20%程度、中世から20%程度出題されており、現代からの出題はみられなかった。

分野別では、政治史が45%程度。文化史が30%程度、社会経済史が20%程度、外交史が5%程度出題された。なお、2020年度は政治史から30%程度、文化史・社会経済史からそれぞれ25%程度、外交史から20%程度出題されている。なお、摂南大学の問題はテーマ史の形式をとることもあるので、大問ごとに時代・分野が複数にわたっているものもある。

## ②出題傾向と難易度

大問ごとに特定のテーマが設定され、それに基づいて出題される傾向がある。各時代の政治史を中心に、近世・近代の文化史、近世～戦後の外交史、近世～戦後の経済・産業史などが頻出のテーマで、これらのテーマが視点を変えて例年出題されている。なお、出題される時代は近世・近現代、分野は政治史・文化史が比較的多いのがここ数年の傾向である。

問題の難易は、記述式・マーク式ともに一部を除いて標準的である。記述式では基本用語を正確に書けるかどうか問われている。一問一答問題も重要ではあるが、得点差が付きやすいのは、マーク式での文章正誤問題や年代整序問題など「考えさせる」問題である。文章正誤問題の誤りの箇所は基本知識で判断できるものが多く、やや詳細な知識を必要とする場合でも消去法などを用いることで対応が可能である。また、年代整序問題では、基本的な歴史事項の前後関係・因果関係をしっかりと理解していれば対処できる場合が多い。

## 学習アドバイス

## ①教科書の学習が基本

空欄補充問題では基本的な歴史事項を問う問題が多いが、文章正誤問題や年代整序問題、史料や地図、図版を用いた問題など、一問一答的な用語の暗記だけでは対処できない問題も出題される。したがって、教科書を中心に時代ごとの流れをしっかりと理解しながら、基本用語の内容を丁寧におさえていく学習姿勢が大切である。その際、差が付きやすい文章正誤問題や年代整序問題などへの対策として、歴史用語をみて、それがいつ頃(何世紀、何時代)の、どのような内容のものなのかを関連づけて説明できるようになっておきたい。そのうえで、問題集(総合問題集)にあてれば、学習した時代・分野の弱点が自分自身でわかってくるだろう。

時代・分野の出題比率は日程ごとに異なるが、複数年度・全日程を総合するとほぼまんべんなく出題されている。したがって、全時代・全分野を丁寧に学習し、苦手な時代・分野を残さないようにすることが大切である。また、2021年度は現代史(戦後以降)からの出題は5%程度の出題であったが、2019年度も同様に5%程度出題されているので、程度に差はあるが全時代について偏ることなく基本事項を習得しておきたい。

## ②記述問題対策はしっかりと

問われる事項は一部を除き基本的な用語がほとんどなので、漢字が正確に書けるかどうかで得点差がひらく。日頃から重要な歴史用語を正確に書いて覚える学習を心掛けたい。

## ③テーマ史の学習を

大問4題はそれぞれテーマをもって構成されているので、一通りの学習が終わってからテーマ史の学習に力を入れよう。例えば、選挙制度史、法制史、政党史、中国・ロシアなどとの外交史などで、時代・分野別にテーマを設定してノートにまとめておこう。年表を作るのも効果がある。

## ④形式・傾向に慣れるため過去問を解く

江戸時代の藩政改革やGHQの占領政策に関する知識が2年連続で問われた事例も過去にあり、同一のテーマや用語が続いて出題されることもある。したがって、教科書の基本的な事項をしっかりとおさえたうえで、摂南大学の過去問を3～5年程度は解いておきたい。問われている用語以外の選択肢や関連事項も含めて丁寧に学習し、頻出のテーマや用語についての理解を深めておくことが効果的である。

## ⑤史料・図版・絵画なども目を通しておく

史料や地図・絵画などの図版を使用した問題がたびたび出題されている。教科書掲載のものを中心に、史料・地図・図版などにもしっかりと目を通して、その内容を理解しておきたい。歴史的な事項が、どこで、どのように起こったのかなどをイメージしながら学習するのが効果的である。